

令和7年度 林分条件調査表

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均 胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの 距離 km	備 考				
									本数	材積 m³	m³/本 m³	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・運材		小運搬巻立				林地保全		土場作設等 h	砂利 数量 m³	薬剤 散布 (2.5N %) ℓ	鉄板 規格・枚数						
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	グラブフル付きトラフ 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾 斜・急 緩	延長 m							2種 編組 m	緑化 m²		
889L3	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.30	33	18	2,627	699	0.27	243	0	243	全木	699	プロセッサ	243	189	243			中									川内庁舎	9.3	
889L4	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	8.54	33	18	5,220	1,388	0.27	483	1	484	全木	1,388	プロセッサ	484	334	484			中									川内庁舎	9.5	
889ろ1	水涵保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.61	33	18	2,207	587	0.27	205	0	205	全木	587	プロセッサ	205	266	205			中									川内庁舎	9.6	
889ろ2	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.60	33	18	2,813	747	0.27	261	0	261	全木	747	プロセッサ	261	956	261			中									川内庁舎	10.1	
889ろ4	水涵保	ヒバ	113	天然林受光伐	列状間伐(1伐2残)	5.54	33	20	1,545	388	0.25	45	85	130	全幹	388	チェーンソー	130	692	130			中									川内庁舎	10.1	
890L1	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.47	33	18	2,120	565	0.27	196	0	196	全木	565	プロセッサ	196	261	196			中									川内庁舎	9.2	
890L2	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.50	33	18	915	244	0.27	84	0	84	全木	244	プロセッサ	84	459	84			中									川内庁舎	9.2	
890L3	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.03	33	18	1,853	493	0.27	171	0	171	全木	493	プロセッサ	171	265	171			中									川内庁舎	9.3	
890L4	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.42	33	18	2,089	556	0.27	194	0	194	全木	556	プロセッサ	194	220	194			中									川内庁舎	9.6	
890L5	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.52	33	18	928	248	0.27	86	0	86	全木	248	プロセッサ	86	157	86			中									川内庁舎	9.5	
890L6	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.74	33	20	3,343	1,024	0.31	333	14	347	全木	1,024	プロセッサ	347	435	347			中									川内庁舎	9.7	
890L7	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.65	33	20	3,503	932	0.27	308	9	317	全木	932	プロセッサ	317	523	317			中									川内庁舎	10.1	
890L8	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.57	33	22	989	351	0.35	121	1	122	全木	351	プロセッサ	122	1213	122			中									川内庁舎	10.1	
890L9	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.15	33	26	868	496	0.57	179	0	179	全木	496	プロセッサ	179	1166	179			中									川内庁舎	10.1	
893L1	水涵保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.16	33	22	2,207	903	0.41	300	20	320	全木	903	プロセッサ	320	246	320			中									川内庁舎	5.1	
893L3	水涵保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.99	33	26	2,702	1,409	0.52	451	24	475	全木	1,409	プロセッサ	475	1052	475			中									川内庁舎	5.1	
894L3	水涵保	スギ	53	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.60	25	18	2,198	609	0.28	204	4	208	全木	609	プロセッサ	208	189	208			中									川内庁舎	5.1	
894L5 A区	水涵保	スギ	52	保護伐	皆伐	1.40	100	22	2,493	879	0.35	588	2	590	全木	879	プロセッサ	590	866	590			中									川内庁舎	5.9	
894L5 B区	水涵保	スギ	52	保護伐	皆伐	2.12	100	22	3,377	1,281	0.38	746	5	751	全木	1,281	プロセッサ	751	1034	751			中									川内庁舎	5.9	
894L6 A区	水涵保	スギ	52	保護伐	皆伐	2.46	100	20	3,574	1,115	0.31	688	6	694	全木	1,115	プロセッサ	694	578	694			中									川内庁舎	5.9	
894L6 B区	水涵保	スギ	52	保護伐	皆伐	2.14	100	20	3,246	948	0.29	575	2	577	全木	948	プロセッサ	577	173	577			中									川内庁舎	5.9	
894L10	水涵保	スギ	52	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.51	33	22	2,347	1,017	0.43	322	31	353	全木	1,017	プロセッサ	353	1165	353			中									川内庁舎	5.9	
895ろ1	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.22	33	24	1,451	673	0.46	229	4	233	全木	673	プロセッサ	233	286	233			中									川内庁舎	5.9	
895ろ2	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.89	33	24	1,756	813	0.46	276	5	281	全木	813	プロセッサ	281	303	281			中									川内庁舎	8.2	
895ろ4	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	9.28	33	24	4,186	1,939	0.46	658	11	669	全木	1,939	プロセッサ	669	257	669			中									川内庁舎	7.6	
895ろ5	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.65	33	20	2,535	859	0.34	290	6	296	全木	859	プロセッサ	296	205	296			中									川内庁舎	7.1	
895は1	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.89	33	20	471	145	0.31	50	0	50	全木	145	プロセッサ	50	104	50			中									川内庁舎	5.8	
895は2	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.84	33	20	1,497	461	0.31	159	1	160	全木	461	プロセッサ	160	919	160			中									川内庁舎	5.1	
895は3	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.71	33	20	2,321	760	0.33	258	5	263	全木	760	プロセッサ	263	397	263			中									川内庁舎	6.5	

(様式6)

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	下北森林管理署	
物件番号	3	
物件名	森林環境保全整備事業(釜ノ沢国有林)	

林小班	保安林 種別等	主要樹種	林 齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐 採 率 %	平均 胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量																最寄り市町村から の距離 km	備 考			
									本数	材積 m³	m³/本 m³	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設				林地保全		土場作設等 h	砂利 数量 m³			薬剤 散布 (スリ ン) ℓ	鉄板 規格・枚数	
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	グラブ付きトラク 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾 斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m²									
895は4	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.26	33	20	1,734	567	0.33	192	3	195	全木	567	プロセッサ	195	815	195			中										川内庁舎	6.5	
895は5	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	8.39	33	20	4,572	1,549	0.34	523	10	533	全木	1,549	プロセッサ	533	507	533			中										川内庁舎	7.1	
895は6	水涵保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.07	33	20	2,059	674	0.33	229	4	233	全木	674	プロセッサ	233	1343	233			中										川内庁舎	6.5	
895は7	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.17	33	20	883	289	0.33	98	2	100	全木	289	プロセッサ	100	1099	100			中										川内庁舎	6.5	
合計						139.39			76,629	25,608	0.33	9,745	255	10,000		25,608		10,000		10,000		0				0		BH 0.45 20 WL 1.3 1.4 10		3600 (150倍希 釈後の量)					

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ～20°、中:20° ～30°、急:30° 以上
4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。
5 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離(。
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

3号物件

林小班	森林作業道延長距離	
889い3外30	概ね	16,685 m

別紙

検知業務請負作業内訳書

素材検知業務請負(釜ノ沢国有林)

単位: m³

物件番号	材 種	作 業 工 程	予 定 数 量	備 考
第3号	素 材	(1)の業務	4,000	
		(2)の業務	2,000	
		(5)の業務	4,000	
		合計	10,000	

検知業務請負(作業内容)

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、材積計算を行い、送状(概算引渡物件明細書)を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知(縦、横、高さを測る)を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。